

練馬区高齢社会における
敬老館のあり方検討会

報 告 書

(案)

平成 20 年(2008 年)11 月

はじめに

練馬区では、昭和45年に大泉北出張所に併設した大泉北敬老館を開設して以来、60歳以上の高齢者の方の「憩いとくつろぎの場」として、敬老館を11館整備してきました。

開設当時、区の人口に占める60歳以上の割合は約7%でありましたが、平成20年4月には、その割合が24%、3倍以上となっております。

このような高齢化の進展に加えて、いわゆる団塊世代の地域への還流に向けた対応など、敬老館を取り巻く環境は大きく変化してきております。

このような中で、今後ますます増加する要介護、認知症、ひとり暮らしなど的高齢者を地域でケアしていく体制とともに、活力ある高齢社会を維持していくためにも、高齢者の健康増進や介護予防、多様な社会参加の支援が求められています。

そこで、これからの高齢社会にふさわしい敬老館はどうあるべきかを検討するため、本年6月に「練馬区高齢社会における敬老館のあり方検討会」が設置されました。

本検討会では、敬老館の設置目的、運営、名称、今後の方向性など多岐にわたる事項を検討してまいりました。その結果、これまでの「憩いとくつろぎの場」に加え、「社会参加を支援する拠点」「介護予防や健康づくりを推進する拠点」「生涯学習を支援する拠点」「60歳代にも魅力ある施設」など敬老館への新たな提言と意見をまとめました。

本報告書を踏まえ、現在の敬老館が今後の高齢社会にふさわしい機能や役割を担い、地域の高齢者施設として多くの高齢者の方に利用されることを、心から期待しております。

最後になりましたが、本報告書をまとめるにあたり、短い期間にも関わらず、毎回活発な議論と積極的な参加をいただいた検討会委員の皆様へ、心から感謝申し上げます。

平成20年11月

練馬区高齢社会における敬老館のあり方検討会
座長 宮崎 牧子

【 目 次 】

[1]	敬老館を取り巻く状況	1
[2]	提言・意見等について	3
1	利用対象者	3
2	利用方法	4
3	団体利用	5
4	開館時間・休館日・夜間利用	6
5	主な施設・設備	7
6	事業実施	9
7	他の高齢者施設との関連	10
8	今後の方向性	11
9	設置目的	12
10	敬老館の運営体制・職員配置	13
11	敬老館の名称等	14
[3]	資料	15
1	練馬区高齢社会における敬老館のあり方検討会の設置について	15
2	練馬区高齢社会における敬老館のあり方検討会委員名簿	16
3	練馬区高齢社会における敬老館のあり方検討会開催経過	17
4	敬老館の個人利用状況	18
5	敬老館個人利用における年代別利用者の状況	19
6	敬老館の団体利用状況	20
7	敬老館の夜間等利用状況	21
8	敬老館の事業実施状況	22
9	敬老館の施設概要	23
10	敬老館の配置図	24
11	練馬区の高齢者人口	25

練馬区高齢社会における敬老館のあり方検討会報告書

平成 20 年(2008 年)11 月発行

編集・発行 練馬区健康福祉事業本部福祉部高齢社会対策課

所在地 〒176-8501 東京都練馬区豊玉北 6-12-1

電話番号 03-3993-1111 (代表)

ファクス 03-5984-1212